

製造業の現場力アップ！

ナレッジ×AI[®]

生産拠点の**QCD**を日時で集計し
週単位で**自動レポート**

対応履歴を活用した
メンテナンス作業の標準化

AIによる**メンテナンス情報**
を使った**予防保全**

議論や会議のメモから
仕様書・設計書の最新化

会議メモから
議事録作成

作業のメモから
報告書作成

海外拠点とのやり取りでの
翻訳工数の削減

作業手順書から
作業フロー図を作成

ベストプラクティスや
改善事例共有による生産性向上

過去トラブル、クレーム情報
活用で設計図の品質向上

類似トラブルの共有による
設計段階からの**未然・再発防止**

熟練作業者の**ノウハウを抽出し**
技術伝承

過去の対応情報やマニュアルを活用した
トラブル対応の属人化排除

トラブルや人為的ミスから学ぶ
安全活動

業務でのAI活用に興味はあるけれど
導入に踏み切れない…という皆様、

一部の社員しかAIを
使いこなせないのでは…

AIは嘘をつくと聞く
けれど…大丈夫？

入力した情報をAIに
学習されないか心配

ファイルサーバにある
データもAI
の参照元にしたい



ぜひアクセラテクノロジーにご相談ください！

設計・生産現場でのナレッジ×AI運用イメージ



ナレッジマネジメントを 強力な武器として企業のAI活用を支援

プロンプトもナレッジとして共有、誰でも迷わず業務でAI活用

「AIを誰もが業務で使える」ようにするためには、AIへの指示文「プロンプト」そのものをナレッジとして捉え、テンプレート化、再利用できるようにすることが重要です。SolutionDeskではプロンプトをテンプレートとして保存し、全員で共有・再利用が可能です。「議事録作成」「レポート作成」など、わかりやすい名前を付けて共有することで誰もが簡単に業務でAIを活用できるようになります。

AIに嘘をつかせない「ドリルダウンRAG」で精度の高いAI活用を実現

参照元のナレッジを製品名や型番、年度などで絞り込んでAIを活用できる「ドリルダウンRAG」により、回答に古い情報や関連のない情報が混入するリスクを防ぎ、精度の高いAI活用を実現します。

企業でのAI活用で重要なのはナレッジベースの鮮度！

ナレッジを簡単に追加・更新し鮮度を保てる仕組みを提供

精度の高いAI活用を実現するには、参照元のナレッジを常に鮮度の高い状態に保つことが重要です。SolutionDeskではナレッジに紐づいたチャットスレッドで現場からのフィードバックを得ることが可能です。それに基づいてナレッジを追加・更新することで鮮度を保ちます。また、AIの参照元となるナレッジは一括登録可能な他、社内ファイルサーバーやWebページなどからも自動収集できるため、最新データを常に取り込みます。それを「ドリルダウンRAG」で用途や製品別等で絞り込むことで、正確性の高いAI活用を実現します。

ナレッジ×AIで生産性向上を実現するITプラットフォーム
「SolutionDesk」のカタログダウンロードはこちら：



掲載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴマークなどは、該当する企業もしくは組織の商標または登録商標です。